



被災前後の緊迫した状況における 栃木県建設業協会の活動

本会では、12日の河川パトロールから未明にかけて全支部で災害対応の待機を行い、翌日より応急仮工事対応を行った。予報を遙かに上回る『台風19号』の爪痕は大きく『地域の守り手』として地域を守るために全力で応急対策業務を行った。

